

太田 齋 先生 略 歴 ・ 業 績



略歴

- 1952年 北海道名寄市に生まれる
- 1971年 北海道立旭川西高等学校卒業
- 1976年 神戸市外国語大学中国学科卒業
- 1978年 東京都立大学大学院人文科学研究科中国文学専攻修士課程修了
- 1980年 山東大学中文系高級進修生（～1982年）
- 1983年 東京都立大学大学院人文科学研究科中国文学専攻博士課程単位取得退学
- 1983年 東京都立大学人文学部助手
- 1986年 神戸市外国語大学専任講師
- 1987年 神戸市外国語大学助教授
- 1996年 神戸市外国語大学教授
- 2009年 神戸市外国語大学理事（学術担当）、外国語学研究所長・大学院研究科長兼担（～2013年）
- 2015年 神戸市外国語大学学術情報センター長（～2017年）
- 2018年 定年により退職、神戸市外国語大学名誉教授

学会における活動等

- 2002.10～2005.9 日本中国語学会理事（2005.10より評議員と改称）
- 2005.10～2006.9 評議員関西地区代表
- 2006.10～2008.9 日本中国語学会編集委員会委員長
- 2008.10～2010.9 日本中国語学会編集委員会編集委員
- 2012.4～2014.3 日本中国語学会副会長
- 2014.4～2016.3 日本中国語学会会長

業績

編著書：

- 『中州音韻』音注索引，（慶谷壽信等と共編），東京都立大学近世音研究会，1981.3.31，343p.
- 『詞林韻釈』索引（改訂版），（慶谷壽信等と共編），采華書林，1982.12.30，354p.
- 西南官話基本文型の記述，（馬真等と共編），東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，1986.3.31，258p.
- 西南官話教本1，（馬真等と共編），東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，1986.7.12，271p.
- 西南官話教本2，（馬真等と共編），東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所，1986.7.25，478p.
- アジア言語論叢 第2号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第39号），神戸市外国語大学外国学研究所，1998.3.25，138p.
- アジア言語論叢 第3号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第45号），神戸市外国語大学外国学研究所，1999.3.31，111p.
- 呉語処衢方言研究（中国語学研究 開篇 単刊 No.12），（曹志耘、秋谷裕幸、趙日新と共編），好文出版，2000.3.13，470p.
- アジア言語論叢 第4号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第51号），神戸市外国語大学外国学研究所，2002.3.29，166p.
- アジア言語論叢 第5号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第58号），神戸市外国語大学外国学研究所，2003.3.31，148p.
- 萊州方言志，（錢曾怡等と共編），齊魯書社，2005.6，378p.
- アジア言語論叢 第6号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第64号），神戸市外国語大学外国学研究所，2006.3.31，176p.
- アジア言語論叢 第7号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第69号），神戸市外国語大学外国学研究所，2008.3.25，166p.
- アジア言語論叢 第8号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第76号），神戸市外国語大学外国学研究所，2010.3.25，131p.
- 韻書と等韻図1（神戸市外国語大学 研究叢書 第52冊），神戸市外国語大学外国学研究所，2013.3.1，258p.
- アジア言語論叢 第9号（神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第83号），

神戸市外国語大学外国学研究所, 2013.3.1, 173p.

吴语婺州方言研究, (曹志耘、秋谷裕幸主編、黄曉東、趙日新、劉祥柏、王正剛と共編), 商务印书馆, 2016.10, 660p.

アジア言語論叢 第10号(神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第92号), 神戸市外国語大学外国学研究所, 2016.12.22, 2463p.

周法高『中国語文研究』訳注, (神戸市外国語大学 研究叢書 第59冊), 神戸市外国語大学外国学研究所, 2017.3, 423p.

論文:

西儒耳目資の音系について—入声の特質をめぐって—, 1978.1, 東京都立大学修士論文

尖団小論, 東京都立大学人文学部『人文学報』第140号, 1980.3.31, pp.139-153

「尖団小論」資料Ⅰ 静嘉堂本『譯語』中西番譯語, 1955.4, (油印)

「尖団小論」資料Ⅱ 天理本西番譯語, 1955.3, (油印)

博山方音記, (中文 錢曾怡等と共編), 『山東大学文科論文輯刊』1982年第1期(総第7期), 1982.8, pp.1-43

山東方言における‘兒化’, 東京都立大学人文学部『人文学報』第166号, 1984.3.31, pp.23-51

(中国語訳 傅根清訳, 山東方言的“兒化”, 『煙台師範学院学報(哲社版)』1991年第1期(総第20期), 1991.3.20, pp.67-78)

博山方言詞匯, (中文 錢曾怡等と共編), 『語海新探』第一輯, 1984.11, pp.207-250

山東方言における‘兒化’(補), 東京都立大学人文学部『人文学報』第180号, 1986.3.31, pp.35-58

掖県方言調査報告稿(Ⅰ), 『神戸外大論叢』第37巻第4号, 1986.10.1, pp.81-106

(Ⅱ), 『神戸外大論叢』第38巻第7号, 1987.12.25, pp.55-74

(Ⅲ), 『神戸外大論叢』第39巻第6号, 1988.11.30, pp.63-80

(Ⅳ), 『神戸外大論叢』第40巻第5号, 1989.10.31, pp.19-42

[資料] 丙種本西番館訳語校本(稿), 神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究XVII(内陸アジア言語の研究Ⅱ)』, 1987.3.20, pp.157-215

中国語に見られる‘Metathesis’について, 『開篇』Vol.5, 1988.6.7, pp.36-51

掖県方言同音字表(第一次改訂稿), (錢曾怡等と共編), 『開篇』Vol.5, 1988.6.7,

pp.82-109

博山方言語彙調査稿（附）淄川方言雜記，神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究XIX（内陸アジア言語の研究IV）』，1989.3.25，pp.103-145

膠南方言調査報告（稿），『神戸外大論叢』第41巻第4号，1990.9.30，pp.33-52

単県方言調査報告（稿）I，『神戸外大論叢』第42巻第3号，1991.9.30，pp.1-36
方言地理学研究二則 —動詞<在>、結構助詞<的>—，『神戸外大論叢』第43巻第2号，1992.9.30，pp.19-39

単県方言調査報告（稿）II，『神戸外大論叢』第44巻第1号，1993.9.30，pp.21-32
常用語彙中に見える例外的対応形式について（1） —「今日」と「今年」を例に—，『神戸外大論叢』第45巻第4号，1994.9.30，pp.41-60

常用語彙中に見える例外的対応形式について（2） —「今日」と「今年」を例に—，『神戸外大論叢』第45巻第7号，1994.12.25，pp.49-63

北方方言怪音例集（1）——語流音変以及其他特殊音変——，神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究XXXI（アジア言語論叢）』，1995.3.31，pp.105-170

北方方言怪音例集（2）——語流音変以及其他特殊音変——，『神戸外大論叢』第46巻2号，1995.9.30，pp.87-105

北方方言怪音例集（3）——語流音変以及其他特殊音変——，『神戸外大論叢』第46巻4号，1995.9.30，pp.73-86

北方方言怪音例集（4）——語流音変以及其他特殊音変——，『神戸外大論叢』第46巻6号，1995.11.30，pp.43-57

北方方言怪音例集（5）——語流音変以及其他特殊音変——，『神戸外大論叢』第47巻1～4号，1996.6.1，pp.243-254

北方方言怪音例集（6）——語流音変以及其他特殊音変——，『神戸外大論叢』第47巻5,6号，1996.10.31，pp.75-87

晋方言常用詞匯中の特殊字音—“今日”和“今年”—，『首届晋方言国際学術研究会論文集』，山西高校聯合出版社，1996.12，pp.63-69（中文）

漢語方言の常用語彙に見られる例外的対応形式について——‘明’の場合——，『開篇』Vol.15，1997.6.7，pp.114-149

『西儒耳目資』編纂過程推測の手がかり，『神戸外大論叢』第48巻2号，1997.9.30
pp.61-72

『西儒耳目資』編纂過程推測の手がかり（続），『神戸外大論叢』第48巻5号，
1997.10.25，pp.41-51

『西儒耳目資』に見る先行韻書の利用のされ方，『開篇』Vol.16，1997.12.31，
pp.76-80

掖城音系 —掖県方言調査報告之一，神戸市外国語大学外国学研究所，『外国学
研究XXXIX（アジア言語論叢2）』，1998.3，pp.1-67，（中文 錢曾怡等と共編）

玄応音義に見る玉篇の利用，『東洋学報』第80巻第3号，1998.12，pp.01-024

（中国語訳 何琳译，玄应音义中《玉篇》的使用，《音史新论 庆祝邵荣芬
先生八十寿辰学术论文集》，董琨等主编，学苑出版社，2005.5，pp.223-237）

〈資料〉玄応音義反切と玉篇反切の一致，『開篇』Vol.17，1998.6，pp.134-140

浙江雲和方言音系，『方言』1998年第4期，1998.11，pp.290-303，（中文 曹志
耘氏と共編）

掖城詞匯 —掖県方言調査報告之二，神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研
究XLV（アジア言語論叢3）』，1999.3.31，pp.49-111，（中文 錢曾怡等と共編）

論漢語方言中的“類音牽引”和“同音詞衝突”，『神戸外大論叢』第50巻5号，
1999.10.31，pp.19-36

“蜘蛛”的“網”—微母字特殊演變例—，『漢語現狀与歴史的研究 首届漢語言
学国際研討会論文集』，江藍生 侯精一主編，中国社会科学出版社，1999.12，
pp.287-296（中文）

“同音詞衝突”和“類音牽引”，『首届官話方言国際研討会論文集』青島出版社
2000.3，pp.25-30

見かけ上の合音 —語彙化の音声的現れ—，『神戸外大論叢』第51巻6号，
2000.11.30，pp.33-51

漢語北方方言常用詞的特殊演變 —“煎餅”、“灯蛾”、“狐狸精”、“啄木鳥”
—，『神戸外大論叢』第52巻7号，2001.12.25，pp.25-33

掖城詞匯與語法 —掖県方言調査報告之三，神戸市外国語大学外国学研究所，『外
国学研究51（アジア言語論叢4）』，2002.3.29，pp.13-138，（中文 錢曾怡等と
共編）

錯綜した「混交」—中国西北方言の「コウモリ」、「ヤモリ」、「アリ」、「ハチ」—，
『慶谷壽信教授記念中国語学論文集』，慶谷壽信教授記念中国語学論文集刊行
会，好文出版，2002.11，pp.51-92

漢語の身体名称に見られる特殊変化(1) — 「蹠」の諸語形をめぐる憶説 —, 『神戸外大論叢』第53巻1号, 2002.9.30, pp.17-36

漢語の身体名称に見られる特殊変化(2) — 「蹠」の諸語形をめぐる憶説 —, 『神戸外大論叢』第54巻2号, 2003.9.30, pp.25-46

漢語の身体名称に見られる特殊変化(3完) — 「蹠」の諸語形をめぐる憶説 —, 『神戸外大論叢』第54巻3号, 2003.9.30, pp.105-123

縉雲方言音系, 『アジア言語論叢』第5号(神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第58号), 2003.3.31, pp.95-132

「回紇huíhé」の「紇hé」, 『神戸外大論叢』第55巻1号, 2004.9.30, pp.21-34
虚構の字音、虚構の小韻—乏韻溪母小韻は実在したか, 『開篇』Vol.24, 2005.3.31, pp.1-13

(中国語訳 何琳译, 虚構的字音、虚構の小韻—乏韻溪母小韻是否真正存在, 《语言》(第6卷), 首都师范大学出版社, 2006.12, pp.48-66)

“媳妇”が関わる民間語源三題—中国語西北方言の例を中心に—, 『神戸外大論叢』第56巻7号, 2005.12.26, pp.15-41

瑞安湖岭方言音系, 『アジア言語論叢』第6号(神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第64号), 2006.3.31, pp.141-176

キメラ語形について(1), 『神戸外大論叢』第57巻7号(創立60周年記念特集号), 2006.6.1, pp.181-207

唇音下字反切の開合問題, 『佐藤進教授還暦記念中国語学論集』, 佐藤進教授還暦記念中国語学論集刊行会, 好文出版, 2007.4.12, pp.125-144

北方方言里所见的类音牵引等语音现象——以山西方言的“砚瓦”等为例——, 《晋方言研究——第三届晋方言国际学术研讨会论文集》, 乔全生主编, 希望出版社, 2008.10, pp.18-26

北方方言里面所能见到的类音牵引等语音现象——以山西方言的“砚瓦”为例——(续), 『神戸外大論叢』第57巻3号, 2007.9.30, pp.93-105

[資料] 丁種西番訳語(川一)校本(稿), 『アジア言語論叢』第7号(神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第69号), 2008.3.25, pp.109-164

北方方言“眼睫毛”の対応詞の特殊音変化(1), 『神戸外大論叢』第59巻4号, 2008.9.30, pp.23-43

北方方言“眼睫毛”の対応詞の特殊音変化(2), 『神戸外大論叢』第60巻3号,

2009.10.31, pp.63-76

北方方言“眼睫毛”的对应词的特殊音变化(3), 『神戸外大論叢』第60卷6号,
2009.11.30, pp.91-103

[講義稿]古代の四声と普通話の四声の対応関係, 『アジア言語論叢』第8号(神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第76号), 2010.3.25, pp.95-131
常用词特殊音变的分析法: 以“肩膀”和“井拔凉水”为例, 《中国语文》2010年第5期(中国社会科学院语言研究所建所六十周年纪念专刊), 2010.9, pp.426-437

谈“蝌蚪”(1), 『神戸外大論叢』第61卷1号, 2010.11.30, pp.25-44

谈“蝌蚪”(2完), 『神戸外大論叢』第61卷2号, 2010.11.30, pp.39-58

韻図における唇音字の開合配置, 『開篇』Vol.30, 2011.9.13, pp.54-88

于母重紐問題と助紐字を巡る臆説, 『開篇』Vol.31, 2012.10.1, pp.226-250

北方方言“蚯蚓”的对应词(1), 《汉语方言的地理语言学研究》, 曹志耘主编, 商务印书馆, 2013.4, pp.183-190

北方方言“蚯蚓”的对应词(2), 『アジア言語論叢』第9号(神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第83号), 2013.3.1, pp.91-136

山东方言的入声及相关的问题, 『アジア言語論叢』第9号(神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第83号), 2013.3.1, pp.137-173

[资料] 陕西凤翔县虢王镇方言音系简介, 『神戸外大論叢』第63卷4号, 2013.3.1, pp.21-33

指示対象のズレと特殊な語形変化(1) — 「キツツキ」及びその関連語彙を対象に—, 『神戸外大論叢』第64卷4号, 2014.3.1, pp.33-62

指示対象のズレと特殊な語形変化(2) — 「キツツキ」及びその関連語彙を対象に—, 『神戸外大論叢』第64卷4号, 2014.3.1, pp.63-96

疑母重紐 A 類小韻試論 附論 云母との相補性, 『開篇』Vol.33, 2014.12.25, pp.38-60

指示対象のズレと特殊な語形変化(3) — 「キツツキ」及びその関連語彙を対象に—, 『神戸外大論叢』第65卷2号, 2015.3.1, pp.107-130

指示対象のズレと特殊な語形変化(4完) — 「キツツキ」及びその関連語彙を対象に—, 『神戸外大論叢』第65卷2号, 2015.3.1, pp.131-155

从汉语方言变音现象谈汉语的形态类型, 柯理思(法国国立东方语言文化学院/东亚语言研究所)、太田斋(日本神户外国语大学), 《方言学报》第七期, 2016, pp.26-47

韻書と等韻図Ⅱ(完), 神戸市外国語大学外国学研究所『外国学研究』第92号, 神戸市外国語大学外国学研究所, 2016.12, pp.145-246

“舒声促变”及其痕迹, 『神戸外大論叢』第66卷第1号, 2016.12, pp.41-61

江蘇省揚中方言調査ノートから, 『開篇』vol.35, 2017.5.28, pp.77-82

混淆和俗词源—以西北方言的“蒲公英”对应词为例—, 《西北方言与民俗研究论丛》第三辑, 中国社会科学出版社, 2017.5, pp.24-44

反映西北方音的王三反切, 《汉籍与汉学》, 2017年第一期(總第一期), 山東大學國際漢學研究中心, 山東人民出版社, 2017.10, pp.38-46

韻書と等韻図Ⅰ/Ⅱ補説, 『神戸外大論叢』第67卷4号, 2017.11, pp.1-28

“马齿苋”转语记, 『神戸外大論叢』第67卷4号, 2017.11, pp.89-109

其の他:

書評: 岩佐正仍『中国の少数民族と言語』(中国語学研究叢書5), 光生館, 『日本と中国』, 1983.10.25 第7面

『日本中国学会報』第38集 学会展望(語学), (佐藤晴彦、山川英彦と共編), 1986.10.1, pp.311-327

『日本中国学会報』第39集 学会展望(語学), (佐藤晴彦、山川英彦と共編), 1987.10.1, pp.322-352

漢族方言と少数民族言語, 『文化人類』学8, 1990/Vol.6/No.2, アカデミア出版会, 1990.12.20, pp.146-152

「山東方言志叢書」の出版始まる 『利津方言志』(書評), 『東方』134, 1992.5.5, pp.31-33

漢語諸方言の総合的研究(1)研究篇, (2)漢語方言地図(稿), (3)漢語方言資料地点別リスト[附]80年代漢語方言資料目録(稿), 平成1-3年度科学研究費総合研究(A), (課題番号01301057)研究成果報告書(研究代表者 静岡大学人文学部助教授 岩田礼), 1992.3

担当項目は以下の通り。

語彙項目14在(動詞)(2)漢語方言地図(稿)p.20; 解説は(1)研究篇 pp.87-90
15的(構造助詞)(2)漢語方言地図(稿)p.21; 解説は(1)研究篇 pp.91-92

中国の方言と地域文化 (3), 平成 5-7 年度科学研究費総合研究 (A), (課題番号 05301056), 研究成果報告書—第 2 分冊 漢語方言地図集, (研究代表者 京都大学文学部 平田昌司), 1995.4, pp.30-38;154-159

「今日」を表す各語源形式—その地理的分布と音声変化の諸相— pp.30-38
比較構文—語順の差異を基準とする各タイプの分布状況— pp.154-159

銭曾怡 『博山方言研究』, 中国の方言と地域文化 (3), 平成 5-7 年度科学研究費総合研究 (A) (課題番号 05301056), 研究成果報告書—第 3 分冊 書評集 中国地域文化研究の諸相 (1), (研究代表者 京都大学文学部 平田昌司), 1995.4, pp.17-33

(中国語訳 傅根清、劉淑学訳 〈銭曾怡的《博山方言研究》〉, 『淄博師專学報』 1996年第4期 (総第 41 期), pp.63-70)

中国語の多様性と統合性, 『アジア読本 中国』, 河出書房新社, 1995.4.25, pp.55-61

マンダリンから国語へ, 『アジア読本 中国』, 河出書房新社, 1995.4.25, pp.62-63

岩波 『現代中国事典』, 1999.5, 担当15項目は次の通り: ウェード式、HSK、エスペラント、漢字簡略化方案、言語学、言語政策、注音字母、中国語、中国文字改革委員会、白話、拼音符号、方言学、民族共通語論争、文字改革、呂叔湘

『橋本萬太郎著作集』第三巻編集 担当論文 Internal evidence for Ancient Chinese palatal endings, pp.3-37 (編者註pp.33-37); Retroflex endings in Ancient Chinese, pp.61-87 (編者註pp.85-87); Implications of Ancient Chinese retroflex endings, pp.88-96 (編者註pp.95-96);

新編中国地方志所録方言志目録 附: 方言專志目録, 平成 13-15 年度科学研究費基盤研究 (B) (課題番号 13410130) 研究成果報告書—第1分冊, 2002.3, 321p., 加納巧と共編

吳語蘭溪東陽方言調査報告 平成 13-15 年度科学研究費基盤研究 (B) (課題番号 13410130) 研究成果報告書—第2分冊, 2002.4, 122p., 秋谷裕幸らと共編

漢語方言地図集 (稿) 第4集, 平成 13-15 年度科学研究費基盤研究 (B) (課題番号 13410130) 研究成果報告書—第3分冊, 2004.3, 265p., 編集責任

担当項目は以下の通り。

項目 1 コウモリ pp.7-20

項目 2 ヤモリ pp.21-24

項目 3 トカゲ pp.25-27

項目 11 アリ pp.70-76

項目 13 クモ pp.77-82

方言地图集有关词汇节录 pp. 173-259

〔卒論紹介〕北山由紀子『原本玉篇』の受容について～『玄応一切経音義』との“案語”の比較を通して～ 富山大学卒業論文1997.1 並びに〔学会発表レジュメ紹介〕顧野王『玉篇』と玄応『一切経音義』との関係 北山由紀子（富山大学卒業生）第76回訓点語学会研究発表会1997年5月23日 於大阪市立大学紹介文, 『開篇』Vol.26, 2007.5, pp.263-265

『日本中国学会報』第60集 学会展望（語学）,（佐藤晴彦、山川英彦、下地早智子と共編）, 2008.10.11, pp.361-406（音声・音韻及び方言担当）

『日本中国学会報』第61集 学会展望（語学）,（佐藤晴彦、山川英彦、下地早智子と共編）, 2009.10.10, pp.368-417（音声・音韻及び方言担当）

書評：曹志耘主編《汉语方言地图集・词汇卷》，商务印书馆，2008, 『中国語学』256, 2009.10.25, pp.13-31

言語類型の推移に関わる現象, 『人間文化』13, 人間文化研究機構, 2011.5, pp.32-47

神尾弑春氏の慧琳音義研究 — 『慧琳一切経音義の摸索』校訂版作成に当たって — 『開篇』Vol.34, 2015.12.25, pp.74-76（神尾弑春『慧琳一切経音義の摸索』校訂版, pp.77-118）

慶谷門下一の不肖の弟子, 『開篇』Vol.35, 2017.5.28, pp.29-31